

## 「G作家の小部屋 独創性について」

聞き手・女性：先生は、ゴキブリでありながら  
日本を代表する作家でもあるという・・・  
まあ何でしょうか、その、極めて異端な存在なわけですが

G作家： 異端ね（笑）  
異端というのはまあそうだけど、真ん中があって端があるわけですね。  
卵焼きなんかでも、何切れに切ろうか端っこというのは、  
たった二切れしかない訳です。

聞き手・女性：ええ。

G作家： 僕はこれを、多くの平凡と少数の非凡と思ってる。  
だからこの 6 本足にインクをつけて原稿用紙の上を這いずり回る執筆法も  
ね

聞き手・女性：はい。

G作家： まずもって先駆者たれというのが  
作家として、またゴキブリとしての僕の矜持だね。

M： ♪～

聞き手・女性：ごちゃごちゃうるさいゴキブリに一撃。  
キンチョウ ゴキブリがうごかなくなるスプレー

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください

## 「G作家の小部屋 ライフスタイルについて」

聞き手・女性：ゴキブリでありながら、  
日本を代表する作家である先生、  
デビュー作の『夜中、箸を舐めるわたし』について、

G作家： あれはですね『夜中、箸を舐めるわたし』で描きたかったことは、  
現代人のライフスタイルへの警鐘、つまり  
僕たちゴキブリは、夜中に食器や箸を舐めてきた訳で、それは随分昔から。  
すべての出会いには理由がある

聞き手・女性：そうですね

G作家： 現代人はスマートフォンとか何とかで夜を更かし、  
昔はとっくに寝てた時間まで起きてるね。  
すると、夜中、箸を舐める僕らゴキブリと出会うということだね。  
つまり出会いたくないなら、  
人間は早く寝ないといけないね。

聞き手・女性：はい。

M： ♪～

聞き手・女性：できれば顔も見たくないゴキブリに。  
キンチョウ ゴキブリがいなくなるスプレー

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください

## 「G作家の小部屋 サービス精神について」

聞き手・女性：ゴキブリでありながら、  
日本を代表する作家である先生にお越しいただいています、先生、  
最新作『飛べる』には驚きというか、想像を超えた、

G作家： そりゃあね、プロである以上、想像は超えないといけませんからね。  
タイトルを『飛べる』にしたのは、抽象ではなくてね  
驚きを具体的に前面に押し出したかったわけ。

聞き手・女性：具体的・・・

G作家： 飛ばないと思ってたゴキブリが  
いきなりこうブワッと羽根を広げて飛んでくると、ね？  
誰しも一瞬パニックになるでしょ。

聞き手・女性：ええもそりゃあもう

G作家： 単に FLY「飛べる」じゃなく...つまりゴキブリ目線の I can! だよ  
それがサプライズを生む。  
僕なんかはそれを、  
一流のサービス精神だと思ってるよあるね

M： ♪～

聞き手・女性：ゴキブリを巣ごと丸ごと退治したい。  
キンチョウ コンバット

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください

## 「G作家の小部屋 コミュニケーションについて」

聞き手・女性：ゴキブリでありながら、  
日本を代表する作家である先生に  
「コミュニケーション」についてお聞きします

G作家： 語源はラテン語で「分かち合う」を意味する *communicare*。  
「共有すること」なんですね。  
最近若者が「無理」って言葉、よく使いますね  
「ゴキブリ?無理ー」「無理無理無理ー」  
これではコミュニケーションは始まらない。  
せめて何が無理なのかを語り合うとかね、つまり歩み寄りですよ。  
ゴキブリと一緒に風呂は無理ー、とかね、  
ゴキブリと一緒に寝るのだけは無理なのよ、とか、  
そういう意見の交流、これがあって、  
じゃあまずは一緒にご飯はどうですか、となる。  
これがまあコミュニケーションですよ。

M： ♪~

聞き手・女性：マジでうざいゴキブリに一撃。  
キンチョウ ゴキブリがうごかなくなるスプレー

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください

## 「G作家の小部屋 名前について」

聞き手・女性：ゴキブリでありながら、  
日本を代表する作家である先生に  
「名前」についてお聞きします

G作家： 名前というものを考えるときに、言霊というね、  
子供の名前なんかも太郎でも花子でも  
太郎と名付けた瞬間からその赤子は太郎になる訳で、つまり次郎ではない。  
最近コンビニなんかに行っても  
『パン職人がふっくら焼き上げて北海道あずきの粒あんを  
ぎっしり詰め込んだこだわりアンパン』って、  
なんか名前で全部言う・・・みたいなね（笑）  
まあそりゃそうなんでしょうけど（笑）、  
それを「アンパン」と呼ぶ、で、いいじゃないかと。  
アンパンでいいでしょ？て言うね。そういう感じなんですよ。

M： ♪～

聞き手・女性：長い名前でゴキブリ退治。  
キンチョウ ゴキブリがうごかなくなるスプレー

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください

## 「G作家の小部屋 死について」

聞き手・女性：ゴキブリでありながら、  
日本を代表する作家である先生、  
最終回は「死」について・・・ちょっとシリアスなテーマですが

G作家： 全然。シリアスじゃないよね。  
僕なんかね、一度死んでみたいと思うこともあって。  
だって売れるでしょ？ 本が。死んだら。  
本が売れない時代にね、死んだら、非常に売れる。羨ましい。  
でもね、僕なんかは見たいわけ。  
死んだ後、この評価がねちゃんと上がってるかどうか。  
それを見たい。  
で、ときどき死んだマネをするんですよ。でもうまくいかないね。  
裏側がね、気持ち悪いとか、これほんと死んでるの？とかね、  
こう人間てね、トドメを刺しにきたりするんですよ、恐ろしいですよ。

M： ♪～

聞き手・女性：さようならゴキブリさん。  
キンチョウ ゴキブリがうごかなくなるスプレー

G作家： 使用上の注意をよく読んで正しくお使いください